

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-01-15

## 平成21年度CSI委託事業報告交流会(コンテンツ系) 成果報告

HOSEI UNIVERSITY, Library / 法政大学, 図書館

---

【法政大学学術機関リポジトリ概念図】



## 論文を世界へ発信

Hosei University Repository  
法政大学学術機関リポジトリ

【学術機関リポジトリの概要とそのメリット】

- 学術機関リポジトリとは...  
研究成果を電子の形態で、一元的に収集・蓄積・保存し、世界へ向けて無償で公開・利用するシステムです。これにより、Google等のサーチエンジンの検索が容易になります。
- 研究者にとってのメリットは...  
①論文の可視性・顕微性の向上  
②論文の可視性・顕微性の向上  
論文の可視性・顕微性が、世界規模で飛躍的に高まります。機関リポジトリによる発信は、引用率の上昇につながり、引用されれば多くの研究者の目に触れることとなります。つまり、論文の学術上の貢献・価値が顕著です。また、分散して保存されていた論文・報告書等を一括して容易に保存することで、研究成果の増進・管理が容易に行えることが期待されます。
- 大学にとってのメリットは...  
一つ目は、社会的責任を果たすことができる。二つ目は、教育・研究機関としてのブランド価値を高めることができる点です。

### 統計から読みとれるニーズの高まり

①論文利用状況の推移 (2007年5月～2008年5月)

機関	2007年5月	2008年5月
1. Hosei University	2,112	4,012
2. JAIRO	1,000	1,500
3. OAlster	500	800
4. JSTOR	300	400
5. ProQuest	200	300
6. Elsevier	150	200
7. Cambridge	100	150
8. Springer	80	100
9. Wiley	70	90
10. Taylor & Francis	60	80
11. Emerald	50	70
12. ScienceDirect	40	60
13. ResearchGate	30	50
14. Scopus	20	40
15. Crossref	10	30

②2008年度 高頻度利用論文 (2008年1月～2008年12月)

機関	論文数	件数
1. Hosei University	1,201	1,201
2. JAIRO	1,000	1,000
3. OAlster	500	500
4. JSTOR	300	300
5. ProQuest	200	200
6. Elsevier	150	150
7. Cambridge	100	100
8. Springer	80	80
9. Wiley	70	70
10. Taylor & Francis	60	60
11. Emerald	50	50
12. ScienceDirect	40	40
13. ResearchGate	30	30
14. Scopus	20	20
15. Crossref	10	10

- 閲覧・ダウンロード件数の飛躍的増加  
機関リポジトリに登録されている論文の閲覧・ダウンロード件数は、両期に伸びています(上記統計参照)。2009年5月の閲覧件数は、2007年5月と比較して約2倍の増加です。
- 海外からの閲覧  
国内だけでなく海外からの閲覧も多くなりました(上記統計参照)。米国、韓国、フランスなど、ダウンロード件数は特に閲覧件数が多いことがわかります。これはGoogle やOAlster (法政大学電子資料サービスサイト)などのサーチエンジン等で、キーワード検索をした結果、閲覧対象となっていると考えられます。
- 高頻度利用論文  
2008年度(2008年4～2008年12月)におけるダウンロード数第1位の論文の件数は、1,201件です(上記統計参照)。2007年4～2008年3月の同月間では350件程度(ダウンロード数第1位の論文の件数は、123件)です。年間で約2.5倍の増加が見られ、このことから利用頻度の飛躍的増加が分かります。
- 開かれた論文利用環境  
多くの研究者の方が、機関リポジトリに登録された論文を閲覧・ダウンロードしています。いっしょの論文が、機関リポジトリを通じて公開されることで、世界中の研究者は求めるのです。オープンアクセスは、学術界の共通の目標です。機関リポジトリは重要な手段であり、多くの研究機関の学術情報コミュニケーションと研究活動の活性化につながります。

- 登録コンテンツ数 2007年度末:1,100件/2008年度末:2,201件/2009年度末:4,012件
- 広報活動  
学内者にリーフレット配布(①)・・・リポジトリ紹介サイト・リポジトリの利点等、全教員への周知
- 昨年度に挙げた課題  
OPACとの連携=○(②) / 特色ある論文登録=○(③) / 登録論文の増加=△ / 紀要中心からの脱却=△

①学内者への周知に注力!  
学術雑誌論文の増加に貢献

## ②OPACとの連携

- ・OPAC・横断検索対象に、Cinii・JAIROを登録
- ・リンクリゾルバの利用やOPACの改良により対応

OPAC

The screenshot shows the HOSEI Web OPAC search results page. The search criteria include 'Cinii' and 'JAIRO'. The results list various academic papers and books, with a search count of 211 items. A red circle highlights the 'Cinii' and 'JAIRO' logos in the search results, and an arrow points to the '他大学リポジトリへ' (to other university repositories) text.

## 横断検索

The screenshot shows the HOSEI Web OPAC cross-search interface. The search criteria include 'JAIRO'. The results list various academic papers and books, with a search count of 211 items. A red circle highlights the 'JAIRO' logo in the search results, and an arrow points to the '他大学リポジトリへ' (to other university repositories) text.

本学リポジトリ登録論文に、所蔵データをつけ、OPACの検索対象とする方法とはっていない。OPACを本学リポジトリだけではなく、**全国リポジトリへのポータル**として位置付けた。

## ③特色ある論文登録

- ・研究所所蔵資料で電子化されていたものをリポジトリに登録 (2009年度実績=175件)



新釈官音彙解  
(沖縄文化研究所 所蔵)

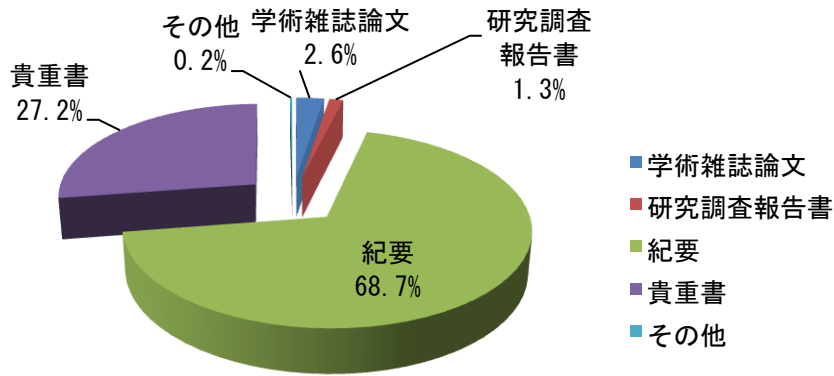
伝観世小次郎信光筆謄本 遊行柳  
(能楽研究所 所蔵)



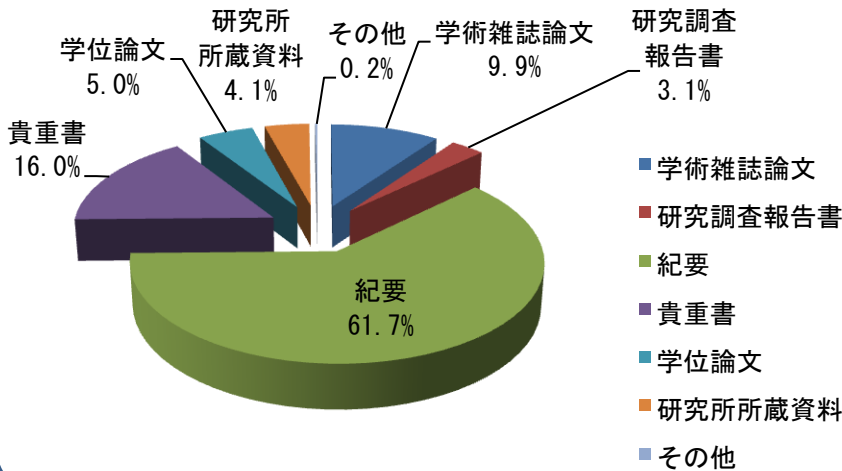
蝦夷島奇観 一卷  
(国際日本学研究所 所蔵)

## コンテンツ構成比率 (2007年度末と2009年度末比較)

### 2007年度末

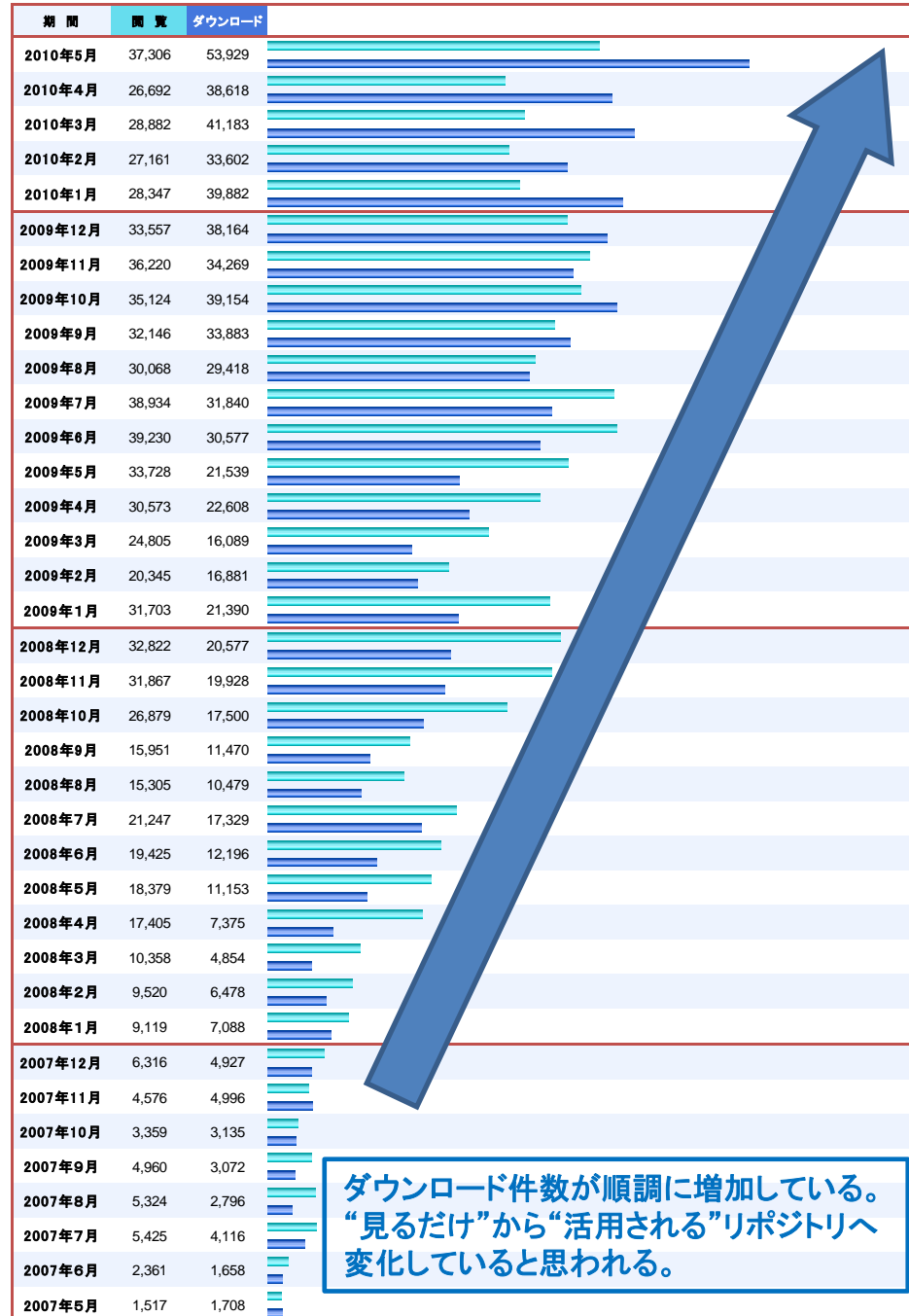


### 2009年度末



依然として紀要中心だが、2007年度末と比較し、コンテンツ構成にバランスがとれてきたと思われる。

## 論文使用状況の推移 (2007年5月～2010年3月)



ダウンロード件数が順調に増加している。“見るだけ”から“活用される”リポジトリへ変化していると思われる。